

真校魅力だより その⑤

真室川校の伝統と誇りをつなぐ～真室川音頭～

真室川校では「地域を愛し、地域に生きる」をスローガンに活動をしています。生徒たちの発案から始まったこのスローガンを具現化するために「真室川祭り音頭パレード」参加を継続してきました。

パレードは昨年今年と中止となりましたが、婦人会の皆さんから指導をいただいて生徒たちは真室川音頭の練習を続けています。今回は、練習の様子をお知らせします。

◆真室川音頭踊り講習会（6月29日(火)）

町連合婦人会の佐藤裕子会長、柴田順子副会長、剣持順子さんを講師に迎え、踊り講習会が開催されました。佐藤会長から「今年も真室川祭り音頭パレードは中止になりましたが、伝統を引き継ぎしっかり踊りを覚えてください」と挨拶があり練習に入りました。手拍子の仕方や指先、目線、かけ声など一つ一つの動作について丁寧に指導していただき、生徒たちは細かなところまで注意しながら踊りの練習を行いました。



踊り講習会

◆班ごと練習

（6月21日(月)～24日(木)・7月12日(月)～20日(火)）

踊り発表会や総練習に向けて、清掃終了後に校内放送から流れる真室川音頭に合わせ、廊下を利用して班ごとに踊り練習を行いました。



廊下で班ごと練習

◆班ごと踊り発表会（7月21日(水)）

指導いただいた婦人会の方を審査員に迎え、踊り発表会が開催されました。1～3年を縦割りに分けた8つの班が輪踊りを行い順位が決まります。生徒たちは、練習の成果を出すべく真剣に取り組んでいました。優勝した8班の矢口康生班長は、「声も出ていて綺麗に踊れたと思う。優勝できてうれしい」と充実した表情で話してくれました。



班ごと踊り発表会

町連合婦人会長の佐藤裕子さんから

以前から踊りを指導してきましたが、地域を愛し伝統を守るうとする気持ちが伝わる素晴らしい取り組みだと思います。真校生には大変感謝していますし、その若さに期待しています。

◆真室川音頭パレード総練習会（8月10日(火)）

雨天のため駐車場から体育館へ会場を変更して行いました。今回も婦人会の方に出席をいただき、祭りのパレードと同様にプラカードと「地域を愛し、地域に生きる」の横断幕を掲げ、隊列の美しさにも気を配りながら総練習を行いました。婦人会の剣持順子さんから「気配りが出来ていて、すごく綺麗でした」とお褒めの言葉をいただきました。生徒代表で柴田和花さんが「来年のお祭りは、ここにいる1・2年生が中心となりますが、2年間のブランクを感じさせないよう真校生一丸となってパレードを盛り上げたい」と決意を語ってくれました。



音頭パレードを想定して総練習